

「水」と「緑」と「歴史」のまちは、
住めばとことん奥深い。



土浦市イメージキャラクターつちまる

つちうら暮らし

tsuchiura-life '16-'17



[巻頭特集]

学びのまち土浦

霞ヶ浦の水資源や豊かな里山など自然環境に恵まれた、歴史薫るまち・土浦市。

実は9つの高等学校を有する「学生の街」でもあります。

街をあげて子どもたちを育み多彩な学びを実現する、躍動感ある土浦市のポテンシャルをご紹介します。

「水」と「緑」と「歴史」のまちは、住めばとことん奥深い。

つちうら暮らし

tsuchiura-life '16-'17

意外と〇〇!
つちうら

優れた交通環境や穏やかな気候、豊かな自然など、心豊かに暮らすために必要なものが意外とそろう土浦市。「意外と〇〇!つちうら」のコピーでその魅力をご紹介します。



特設ホームページでも、市の自然や歴史・食・生活環境など、暮らしやすさをお伝えしています。



「巻頭特集」

学びのまち土浦

旧石器時代から人々が暮らし、

武家社会と共に生まれた古き良き

文化を今なお残す、歴史ある街・土浦市。

約14万人の人口に対して

9校の高等学校を有しており、

近隣地区から多くの学生が集う

「学びのまち」でもあります。

全国に名をとどろかす名門校や、

恵まれた自然環境を生かした活動に励む生徒、

街の行事に積極的に参加する生徒など、

包容力のある街が、多くの若者を育てています。

巻頭特集では、土浦市にある

9つの高等学校をご紹介します。

将来を担う高校生は、

古都を活気づける土浦市の財産です。

super global
high school



dorayaki



国指定重要文化財の旧本館。西洋の香り漂う斬新なゴシック風建築は、アカンサスの葉をモチーフにした柱頭に特徴がある。



平成 26 年度に国から「スーパーグローバルハイスクール」に指定。オリジナルテキスト「土浦一高生のための『国際』教本」をもとに課題研究に取り組み、ポスターや口頭発表を実施するほか、どら焼き専門店と新商品の共同開発も行なっている。



1897 (明治30) 年創設。全国屈指の進学校で、3万人を超える卒業生は、政治、行政、経済、医療研究等国内外の多方面で活躍しています。旧本館は国指定重要文化財で、気品漂う本館入口や校舎内は明治、昭和初期設定の撮影スポットとして映画やドラマに登場します。

茨城県立
土浦第一高等学校

1903 (明治36) 年創設。長きにわたり女子校として優秀な人材を多数送り出し、1994 (平成6) 年に男女共学に。毎年約80名が国立大学に進学するほか、部活動への参加率も高く「活気ある進学校」として実績を積んでいます。

茨城県立
土浦第二高等学校



「書道ガール」として、かすみがうらマラソンや地域のイベントなどに多数出演実績がある書道部。厳かな中にも華のある、迫力のパフォーマンスが高い評価を得ている。

calligraphy

茨城県内に7校しかない女子サッカー部。地元中学生や大学生との練習や試合を数多くこなすなど、地域との繋がりが深い。



Soccer

2014年の次城県高文連自然科学部研究発表会では、科学部が物理部門と地学部門で最優秀賞を授賞。全国高校総文系への出場を果たした。



地元の企業のイベントに招かれて行う吹奏楽部の演奏は、高い演奏力はもちろん魅せる工夫が随所に織り込まれた華やかなステージが好評。



Brassband

創立70年を迎える伝統校。「普通科」「商業科」「会計ビジネス科」「情報処理科」の4学科からなり、手厚い専門教育によって日商簿記検定2級や全商英語検定1級など上位検定の高い実績を誇ります。部活動も盛んで、関東大会や全国大会への出場実績もあります。

茨城県立
土浦第三高等学校

Track and Field



関東大会に出場するなどの成績を残している陸上部は、土浦市立大岩田小学校の児童へ陸上指導も実施。身近なお兄さん、お姉さんの指導に児童は真剣そのもの。



27年度の県高校総体の女子4×400mリレーでは、大会新記録で優勝するなど県トップクラスの実力を誇る陸上部。

全国トップクラスの実力を誇る剣道部を筆頭に、武道が盛んな同校。2015年に行われた第62回全国高等学校剣道大会では男子が全国3位の栄光を手にした。



kendo

茨城県立
土浦湖北高等学校

県下屈指の緑豊かな環境に立地し、特進クラスの設置や公務員希望者の早期指導、医療・看護系進学希望者への指導など生徒の多様な進路希望に沿った指導に定評があります。また、運動部が毎年多数の全国大会出場者を出すなど「文武両道」をモットーにしています。

Shorinji Kempo

2015年には少林寺拳法部もインターハイに出場するなど、県内では常に上位の成績を残している。





WRO Japan2015 茨城大会ベーシック部門で、昨年に引き続き2連覇を果たすなど、県内の工業系の大会では常に優秀な成績を収めている。基礎知識はもちろん、競技直前に発表される課題をクリアできる柔軟なプログラム開発技術も習得。

Robot contest

「機械科」「電気科」「情報技術科」「建築科」「土木科」の5科からなる茨城県南地区唯一の工業高校。キャリアの土台となる「資格取得」に力を入れているほか、各種コンテストに積極的にチャレンジし全国大会に出場するなど成果を上げています。また、卒業生の多くが地元の良い企業に就職し、地域貢献を果たしています。

茨城県立
土浦工業高等学校



Badminton

創部2年目にして県大会の個人戦で優勝、団体戦では準優勝し関東大会に出場した女子バドミントン部。県内のバドミントンの新勢力として注目されている。

普通科と家政科を有す私立高。家政科では文科省認定の取得を目標にしながら、将来各分野のスペシャリストとして活躍するために必要な知識や技術を習得しています。また、クッキング部が創作した「つく国乙女のれんこんボール」は商品化されています。

学校法人霞ヶ浦学園
つくば国際大学高等学校

Cooking

かすみがうらまらソングで、オリジナルのミネストローネ3000食を提供したクッキング部。



Mosaic art



毎週行われる美化推進活動で地域の清掃を行うなど「地域と生徒のため」の活動を推進する生徒会。好文祭と呼ばれる文化祭では、全校生徒で紙のモザイクアートを製作した。



各種コンクールはもちろん、甲子園の応援で奏でられる迫力ある音色のファンも多い吹奏楽部。毎年土浦市民会館で行われる定期演奏会では、地元はもちろん遠方から多くのファンが訪れる。



学校法人常総学院
常総学院中学校高等学校

全国屈指の強豪として硬式野球部や吹奏楽部が有名ですが、毎年100人以上の国公立大学合格をはじめ4年制大学への現役合格率が約90%を誇る進学校。手厚いキャリアアゲインダンスや熱心な進路指導に定評があり、広いエリアから生徒が集まっています。

Brass band

中学生を対象にした講習会も定期的に実施。定員1000人が即満席になる人気の講座は、パートごとの練習から合同演奏まで充実した内容が好評。



2014年には初出場で県予選を制し、科学の甲子園全国大会に出場。47チーム中5位と県勢最高位を記録した。

Science



2007年に県内初の中等教育学校として開校。校歌の歌詞は詩人の谷川俊太郎が手がけています。6年間の中高一貫教育を行なっており、6年を3チームに分けてそれぞれのチームで国内外研修を実施するなど独自のカリキュラムで多くの生徒が学んでいます。

学校法人土浦日本大学学園
土浦日本大学中等教育学校



Basketball



Volleyball

2015年「ウインターカップ（第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会）」と春高バレー（第68回全日本バレーボール高等学校選手権大会）に出場する男子バスケットボール部と女子バレーボール部の壮行会。応援団やチャアリーディング部、吹奏楽部が花を添えた。



Library

付属校である利点を生かし、各大学同様の講義を行う出張講義を実施するなど生徒の将来を見据えた「高大一貫教育」を軸に、多彩なコース設定で生徒の進路指導をしています。また、国公立大学受験指導、英語をメインにすえたグローバル教育にも定評があります。

学校法人土浦日本大学学園
土浦日本大学高等学校



Science

鯉淵南海さん（3年）の作品「光質と植物の成長の関係～光合成の研究 part9～」が第59回茨城県科学研究作品展県知事賞を授賞、全国審査へと駒を進めた。鯉淵さんは2年連続の県知事賞授賞。県展出品者によるミニ学会で研究成果を発表した。



Cheer leading

毎月開催されている行事「おはなしでこい」
（読み聞かせ・手遊び・わらべうた）の様子



親子の時間をもっと楽しもう♪

パパママ安心の

子育て施設ガイド

子育て世代ならば必ず気になるのが、育児のための施設や環境の充実ぶり。市内には子どもたちが伸び伸び元気に遊べて、子育てに関する情報収集やママ友・パパ友との交流にも便利な施設がそろっています。

子育て交流サロン わらべ・のぞみ

孤立化しがちな育児をもっと楽しく。
ママの心に寄り添う子育てサロン

乳幼児とその家族が自由に過ごせる交流サロン。子育て家族の親子が、気軽に打ち解けた雰囲気の中で語り合い、交流できる場を提供しています。また、親子で楽しめる季節ごとの行事や、毎月行われる読み聞かせなど、イベントも行われます。そのほか、市の専門職員「子育て支援コンシェルジュ」による出張相談をはじめ、栄養相談や救命救急講習なども行っています。



商業施設の多いエリアにあり気軽に利用できる「のぞみ」

のぞみ 土浦市東真鍋町2-5
TEL:029-824-8620



民家を改装したアットホームな雰囲気の「わらべ」

わらべ 土浦市中高津1-19-20
TEL:029-825-1030



プレイゾーンにはボールプールなどの遊具を完備



駅前のビルにあるため初めてでも迷わずアクセス可能

土浦市大和町9-2 ウララ2ビル8階
TEL:029-823-7838

平日は日替わりで楽しい行事を実施。
「電車ごっこ」は男の子も女の子も夢中



土浦駅前の便利なアクセスと、600㎡の広々としたスペースが人気の屋内広場。プレイゾーンや図書・学習コーナー、工作コーナーなどを設けており、日替わりで親子体操や工作、手遊びなどの行事を実施しています。間仕切りのないワンフロアのため、子どもの姿が確認しやすく、はいはいや伝い歩きの乳幼児も安心して遊ばせることができます。

こどもランド
アクセス良好&広い空間。
ママもちびっこも安心して遊べる屋内広場

飯田 波子さん (会社員)
土浦歴 32 年

夫と長男 (12 歳)、長女 (9 歳)、
次男 (4 歳) の 5 人家族

子どもの選択肢が 広がる街

私自身が土浦市で育ち、3 児の親になった今も土浦市で生活をしています。自然豊かな環境は子どもたちのさまざまな興味関心を育ててくれると共に、学習面やスポーツなどの選択肢が多いと感じます。特に野球やサッカーなどのチームがたくさんあるので、子どもたちは自分に合った環境で生き生きと楽しんでいますよ。買い物の利便性も高く、1 カ所でもそろそろ大型ショッピングモールはともありがたい存在。反面、昔ながらの店も残っており、隠れた名店がたくさんあります。新旧の絶妙なバランスが土浦市の魅力です。

女性視点



土浦市の暮らしを、市内在住の男性・女性に紹介してもらおう
「つちうら暮らし、大公開」。
いずれも子育て中の 6 人に、女性視点、男性視点での
土浦を紹介してもらいました。

つちうら暮らし、 大公開！



湖面積で日本第 2 位を誇る「霞ヶ浦」は、漁業や利水のほか、釣りや水上レジャーなどの観光資源としても重要な役割を担っている



[上] 水陸両用バスで市内観光 & 霞ヶ浦クルーズを楽しめる「霞ヶ浦ダックツアー」は観光に人気
[下] 国指定史跡上高津貝塚と考古資料館から構成される「上高津貝塚ふるさと歴史の広場」は 5ha の敷地を誇る

[右] 沼を囲む桜が有名な「乙戸沼公園」。周辺は自然の宝庫で遊具も充実しており、年間を通して家族連れでにぎわう
[左] 美女の代名詞として知られる小野小町。小町伝説を伝え、市民の交流に場として親しまれている「小町の館」





人も街も 和やかでのんびり。

人も街も和やかで、穏やかな時間が流れており生活するにはとてもいい場所だと感じています。休日には家族で出かけることが多いのですが、近場では市内の公園で一日中楽しむ、遠出でも JR の駅が3つ、高速道路のICも2つあるのでどこに行くにも便利です。また、公共施設が利用しやすく、自宅近くのグラウンドで娘はテニス、息子はサッカーを楽しんでいます。近隣地区の中では最も高校が多いので、子どもたちの可能性も広がるほか医療施設や介護施設も多く、年齢を重ねても安心して住み続けることができる街だと感じています。

女性視点

久野 幸恵さん (団体職員)
土浦歴 16年

夫と長女 (10歳)、長男 (6歳) の
4人家族



本格的な陸上競技場や野球場、テニスコート、運動広場を有する「川口運動公園」は、市民スポーツの拠点となっている



土浦駅前を歩行者天国にして行われる「キラまつり」は、市内最大級の祭り



東京ドーム2個分の敷地に、約30万アイテムをそろえるホームセンター「ジョイフル本田荒川沖店」。市民はもちろん、遠方からも多くの買い物客が訪れる



霞ヶ浦の水辺を利用し、広大な敷地に四季折々の花が咲き誇る市内最大級の「霞ヶ浦総合公園」



ゆったり過ごせるおうちカフェ「Try Try Try」。キッズスペースも充実しており、子育て世代から絶大な支持を得ている



子育て環境が 充実♪

女性視点

夫も私も土浦市勤務のため、結婚を機に市内に越してきました。現在は育児休暇中で、出産して改めて充実した育児環境を実感しています。公園の多さはもちろんですが、子育て支援施設では読み聞かせなどのイベントが連日行われているので悪天候でも親子共に楽しい時間を過ごすことができます。総合病院をはじめとした医療施設も多いので、いざというときも安心なのは心強いですね。春夏秋冬催しも多いので、子どもの成長と共に多様な楽しみ方ができる街です。



石引 里枝さん (保育士)
土浦歴 2年

夫と長男 (0歳) の3人家族



2万人以上が参加する国内屈指の市民マラソン「かすみがうらマラソン」は、風光明媚なコースとボランティアのおもてなしが人気

【左】毎年10月に全国の煙火業者約60社が、内閣総理大臣賞を目指して腕を競う「土浦全国花火競技大会」。次期煙火のトレンドがそろそろ
 【右】街の洋食屋さんとして親しまれている「洋食 大かわ」。マヨネーズからソースまで当然のように手作りという姿勢が長く市民に愛される



米沢 央規さん (会社員)
 土浦歴 12年

妻と長男 (17歳)、次男 (15歳)、
 三男 (10歳) の5人家族

家族で楽しめる行事が うれしい

随所に歴史と美しい自然を感じられる街だと思います。桜シーズンの亀城公園は一見の価値があり、桜吹雪の舞う様はタイムトリップをしたかのような雰囲気を楽しむことができます。また、全国一位の収穫量を誇るレンコンは、味もさることながら一面に広がるハス田が絶景！開花時期は息をのむほどの美しさで、名峰・筑波山を望む景観は毎年の楽しみです。行事も多く、子どもと一緒に楽しめるのもうれしいです。実はかすみがうらマラソンに数年前から出場していますが、沿道の温かい応援の中気持ちよく走らせてもらっています。

男性視点

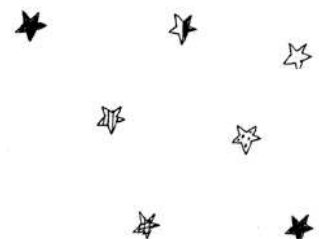


【上】大型飛行船ツェッペリン1号の飛来時に乗務員にカレーを振る舞ったという由来に基づき、秋に開催される「土浦カレーフェスティバル」

【下】生産量日本一を誇るレンコン。広大なハス田は土浦市の美しい景観に一役買っている



通勤やレジャーの足として欠かせない JR の常磐線。2015年3月に終点が上野から品川に延びてさらに利便性が高まった





[上] 歴史を色濃く残す街並みも土浦市の魅力。「土浦まちかど蔵」は、江戸時代後期から明治時代初期に建造された蔵で、現在は観光の拠点となっている

[下] 土浦市の歴史のシンボル「亀城公園」。本丸跡に残る櫓門は現存する櫓門としては関東唯一である

鈴木 庸さん (大学職員)
土浦歴 3年

妻と長女 (1歳) の3人家族

男性視点

昔ながらの街並みに癒されます。

祖母の実家を継ぐことになり、空き家になっていた古い家をリフォームして3年前から土浦に住んでいます。家は昔ながらの街並みが残る地区で、江戸時代からこの道を使って江戸と水戸を往来していたのかと思うとゾクゾクします(笑) 風情ある街のおかげか、自然と背筋が伸びるような感覚で暮らしています。近所付き合いもほど良く安心感もあり、町内や消防団の集まりでは楽しい時間を過ごしています。買い物も便利で、生活必需品はすべて近場でそろうので子どもが小さい家庭にもお勧めできます。



男性視点

飯村 邦夫さん (会社員)
土浦歴 3年

妻と長女 (1歳) の3人家族



霞ヶ浦総合公園の冬の風物詩「水郷桜イルミネーション」。全国的にも珍しい、回転する風車のイルミネーションは日本最大級



新旧が程よく融合

結婚を機に、私と妻の職場の中間地点の土浦に住み始めました。歴史ある街と新興住宅街が程よく融合していて利便性も高く、とても暮らしやすい街だと感じています。春はチューリップ、夏は水遊び、秋は紅葉、冬はイルミネーションと春夏秋冬楽しめる霞ヶ浦総合公園は、夫婦2人のときも子どもが生まれてからもよく訪れるスポットです。地場産の野菜が新鮮で安く、毎日の「食」を楽しめるのも土浦の魅力。飲食店も多いので、食べ歩きもお勧めです。また、土浦全国花火競技大会で、街のにぎわいと共に夜空に上がる花火は圧巻です。

水・緑・歴史・文化。都市機能＋自然資源

「つちうら暮らし」

土浦市では、地域ごとの資源や特長を生かしたまちづくりを進めています。

北部地区

神立駅周辺

市域の北東に位置する、JR常磐線神立駅を中心とした副都心エリア。常磐自動車道土浦北ICとつながる幹線道路も整備され、市外・県外への交通網も充実しています。

そのほか、土浦・千代田工業団地、テクノパーク土浦北といった工業団地を有し、世界的な企業も立地するなど、市の産業をけん引する重要な地域となっています。



利便性向上に向けた整備が進む神立駅

神立駅周辺では「神立駅地区再生計画」に基づき、駅舎の橋上化や駅東西自由通路の整備、駅東口歩行者専用道路の整備など、利便性向上のための計画が進められています（画像はイメージ）。

おおつ野地区

おおつ野地区は、地域の中核病院である土浦協同病院の移転（2016年3月）をはじめ、商業施設や住宅地、工業団地など、生活に欠かせない都市機能の開発がバランス良く進められているエリア。

市民の学習や活動拠点としても活用されている「茨城県霞ヶ浦環境科学センター」や、国内有数のレンコン産地である霞ヶ浦の湖岸に広がるハス田など、土浦ならではの水辺と親しめる空間も広がっています。

土浦協同病院

800床と県下最大規模の病床数を誇る急性期総合病院。救命救急センターをはじめ、地域がんセンター、総合周産期母子医療センター、予防医療センターなどの機能を備えています。

サンフレッシュはすの里

日本一の生産高を誇るれんこんをはじめ、新鮮な地場野菜が所狭しと並ぶ農産物直売所。生活に欠かせない「市民の台所」です。



おおつ野ヒルズ

商業・業務施設、都市公園を核とした「職住近接」を目指す複合市街地。ホームセンターやスーパーマーケットの進出、飲食店などの店舗の整備といった、現在進行形のまちづくりが進められています。





朝日岬展望公園

茨城の観光百選にも選ばれている市内屈指のビュースポット。展望台からは筑波山や関東平野が一望できるほか、大空を優雅に舞うパラグライダーの姿が楽しめます。夜景の名所としても人気。

新治地区

筑波山麓に位置する新治地区は、貴重な田園風景、里山風景、歴史・文化遺産が数多く残るエリア。良好な田園景観の維持を基本とした整備が進められており、スローライフを満喫するには最適な環境です。

また、「小町の館」や「朝日岬展望公園」など、広域的な観光拠点が充実しており、サイクリングやパラグライダーなど、自然と共存しながら楽しめるスポーツも盛んに行われています。

新治地区公民館

ギャラリーラウンジや図書館、集会場などを併設したコミュニティセンター。地域の会合や交流、学習活動の場として、また、福祉活動やコミュニティ活動の拠点として利用されています。



市の核となる施設が集約する土浦駅前

土浦駅周辺と中央地区は市役所の移転をはじめ、市立図書館の新設、亀城プラザや市民会館といった公共施設の機能強化と利便性の向上など、市の核となる機能が充実した地区づくりが進められています。

(独) 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

26診療科、250床を有する地域医療支援病院。二次救急医療体制を整え、地域のがん治療の基幹病院として、がんの診断・早期治療のための専門医療機器が整備されています。また、筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センターが設置されており、県南医療圏の地域医療に貢献しています。



中央地区

土浦駅周辺

地域の中央に位置する、JR常磐線土浦駅を含む市の中心市街地。2015年に駅前に移転した市役所をはじめ、さまざまな都市機能がコンパクトに集積しているほか、医療機関や教育機関も充実しています。

城下町として栄えた駅西側は、亀城公園周辺や旧水戸街道沿いに歴史・文化的遺産が点在し、駅東側に広がる霞ヶ浦はサイクリングやウォーターレジャーのスポットとして人気。都市・歴史・水辺が融合した魅力あふれる地域です。



多くの通勤者が利用する荒川沖駅

市内の駅で最も東京に近く、多くの通勤・通学者に利用されている荒川沖駅は、「荒川沖西口周辺地区市街地総合再生計画」に基づき複合施設や駅前広場、都市計画道路が整備されています。

南部地区

荒川沖駅周辺

JR常磐線荒川沖駅を中心としたエリア。常磐自動車道桜土浦ICと圏央道つくば牛久ICに近く、主要幹線道路のバイパス整備も進むなど、通勤・通学の利便性の高さからベッドタウンとして人気が集まっています。

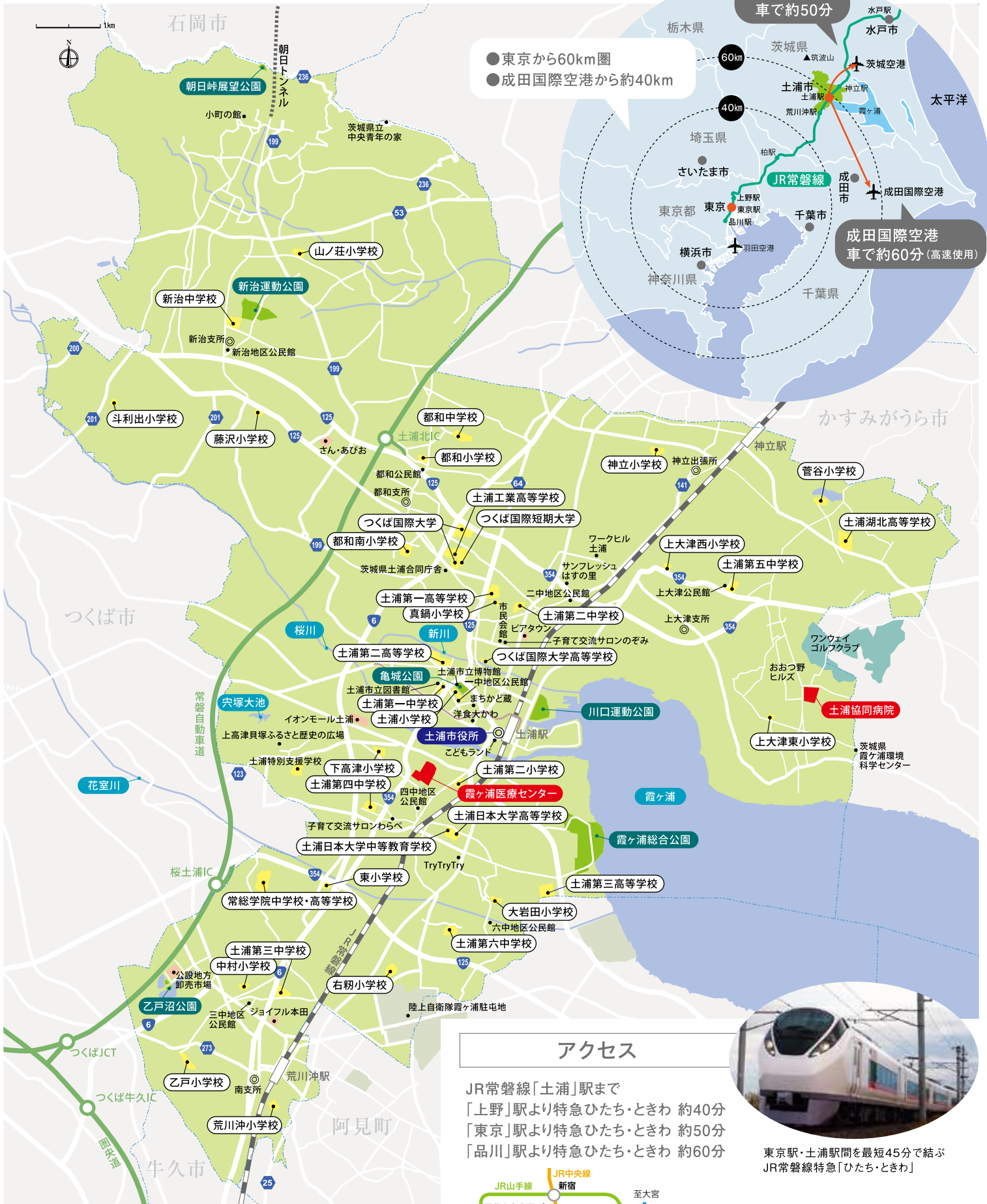
また、霞ヶ浦総合公園や乙戸沼公園といった広域的な公園を有しており、子育て世代をはじめとする市民の憩いの場としても親しまれています。

霞ヶ浦総合公園

アスレチックやテニスコート、ジョギングコースなど、多くの施設を備えた、水と緑豊かなスポーツ・レクリエーション施設。シンボルのオランダ型風車からは市内や霞ヶ浦が一望できます。



土浦市マップ&ロケーション



● 東京から60km圏
● 成田国際空港から約40km

茨城空港
車で約50分

成田国際空港
車で約60分(高速使用)

土浦市のプロフィール (2016年1月1日現在)

- 人口：141,057人
- 世帯数：59,356世帯
- 面積：122.99 km² ※霞ヶ浦の面積9.17 km²を含む

アクセス

JR常磐線「土浦」駅まで
 「上野」駅より特急ひたち・ときわ 約40分
 「東京」駅より特急ひたち・ときわ 約50分
 「品川」駅より特急ひたち・ときわ 約60分



東京駅・土浦駅間を最短45分で結ぶ
JR常磐線特急「ひたち・ときわ」



地域のみなさまの快適な暮らしを 創造する“Gasta”へようこそ—

Gasta 東部ガス LIFE STUDIO は、
地域のみなさまに料理・カルチャー等の講座と
イベントを体験していただけるスタジオです。

また、お客さまの生活における

- ・家に関すること
- ・人に関すること
- ・エネルギーに関すること

など、あらゆるお困りごとのご相談に

『ウチ住(じゅう)まるごとサービス』でお応えいたします。

どうぞ、お気軽にご相談ください。

電力小売りが自由化!

東部ガス 電気

2016年4月から電力の全面自由化スタート。
東部ガスでもお得な料金で電気をご提供いたします。
まずはエネルギーの省エネ診断から始めましょう!

電気もガスも東部ガスにまとめて安心



ウチ住(じゅう)まるごとサービス

ウチ住まるごとサービスとは、
東部ガスが提供するすべてのサービスの総称。
1.家に関すること 2.人に関すること 3.エネルギーに関すること
について東部ガスがお客さまのお困りごとを解消します。

1.家に関すること ウチサービス

- 機器修理・点検
- リフォーム
- 畳
- 網戸
- 水まわり (水栓・キッチン・風呂)
- 家電販売

2.人に関すること ウチ人サービス

- 365日24時間受付
- お掃除に関する困りごと相談
- 食育活動
- コミュニティ
- 見守り活動

3.エネルギーに関すること ウチエネサービス

- 省エネ診断サービス
- 太陽光発電
- 蓄電池
- 太陽熱
- ガス供給
- 電気

東部ガス

東部ガス株式会社 茨城南支社
〒300-0035 茨城県土浦市有明町2番49号
TEL:029-821-1107

Gasta 東部ガス LIFE STUDIO

〒300-0036 茨城県土浦市
大和町9番1号 ウララビル1F
TEL:029-828-5055



教室のスケジュールと予約はこちらから →

<http://www.tobugas.co.jp/>

東部ガス | 検索





光と緑に包まれた「メディカル・エコタウン」

安心・信頼・癒しの医療拠点



2016年3月1日 土浦協同病院開院

新病院は、地域の再生・活性化と地域医療の拠点として、
病院が地域・コミュニティの中心として機能するために、
医療と地域社会が融合した

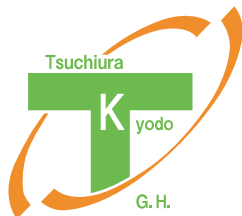
「メディカル・エコタウン」(医療環境経済都市)の創生を目標としています。

【建物概要】

- ◇病床数:800床(急性期病床) ◇建物:地上10階(免震構造)
- ◇敷地面積:33,000坪(東京ドーム2.5個分)
- ◇駐車場:約2,000台(平面駐車場・ゆったりスペース)
- ◇ヘリポート:地上型(ドクターヘリ・大型ヘリ離着陸)

【診療センター】

- ◇救命救急センター(ER) [集中治療室39床(EICU・GICU・CCU・SCU)]
- ◇がんセンター:100床 [緩和ケア病棟:20床]
- ◇総合周産期母子医療センター [NICU:18床・MFICU:9床・GCU:30床]



茨城県厚生農業協同組合連合会 総合病院 土浦協同病院

【旧病院】

〒300-0053 茨城県土浦市真鍋新町11-7 TEL.029-823-3111(代表)

新病院

〒300-0028 茨城県土浦市おおつ野4丁目1番1号
Tel.029-830-3711(代表) <http://www.tkgj.jp/>

